

## テーマ【 生涯学習で地域力を養おう】～遊びから、学びから～

函館生涯学習インストラクターの会  
事務局長 大山 勝 男

### ◎ 生涯学習とは。

私は、生涯学習という意義を知ったキッカケは、平成 13 年度函館市生涯学習推進本部委員委嘱(公募委員)になり 4 期 8 年関わった。平成 14 年に(財)社会通信協会認定資格「生涯学習指導者養成講座～ボランティアコースで 1 級資格取得」

#### ▼ 高齢者の勉強だと思っているのでは……

ある家庭の団欒から……別紙

・ 人間は、一生涯生れてから死ぬまでの生きるための生活、知恵が総て学習である

主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動。……社会教育の定義

・ 臨時教育審議会答申(昭和 60 年から 62 年まで 4 つの答申を提出)で生涯学習と生涯教育の定義。

平成 2 年 6 月に『生涯学習の振興のため施策の推進体制等の整備に関する法律』(生涯学習)



#### ▼ 平成 18 年 12 月 15 日教育基本法成立した。 第 3 条(生涯学習の理念)

- ・ 生涯学習……各人が自発的意思に基づいて行なうことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した、手段・方法は、これを自ら選んで、生涯を通じて行なうものである。
- ・ 生涯教育……生涯学習のために、自ら学習する意欲と能力を養い、社会の様々な教育機能を相互の関連性を考慮しつつ、総合的に整備・充実しようとするのである。

◇簡単に区別するならば、生涯にわたり自発的に自主的な学習を生涯学習という。

これらを組織的に援助する義務教育、社会教育が生涯教育という。

◇高度成長期では、高学歴社会(格差社会)～学歴偏重社会～生涯学習社会…

…過去に何処の大学を出たか、何を学んだかではなく。今何を学び、何が出来るのか評価される社会でなければならない。

### ◎ 地域力とは～地域を活性化すること～よりパワーアップすること

地域活動を元気で町内会活動、老人クラブ活動、在宅福祉活動、ボランティア活動等の事です。

#### ①町内会の前進は、戦前の隣組組織の延長では～

それが戦前戦中の地域活動…隣組組織であった。これらの機能は、今日の町内会と変わらない。ここから地域社会を改革するための時代を变身することです。少子超高齢社会は、乱世現象です。

地域活動は、街づくりの一環です。(危機管理を重点、…自助・公助・共助「互助」) (役員の高齢化対策世代交代) (町会相互のネットワーク化) (学校区単位の町会協力体制)

(元気高齢者こそ地域力の財産です)

②老人クラブは、長寿化に対処する目的で老人福祉法( 1963 昭和38年7月に制定)

第1条において「この法律は、老人の福祉に関する原理を明らかにするとともに、老人に対し、その心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じ、もって老人の福祉を図る事を目的とする」とその目的を明らかにしている。

経済白書で「もはや戦後は終わった」という高度成長時代に老人福祉法はその基本的理念として、

③在宅福祉活動～地域福祉の充実を強化する…社会制度の変革が？

最近の少子高齢化社会の動向は、地域は高齢化核家族化等の進行により、地域福祉の充実強化が重要視され、特に地域における自主的な民間福祉活動の展開が急務となって来ている。

このため、小地域における在宅福祉ふれあいサービス事業を実施するための組織化を図り、市民ぐるみでこの事業を実施するとともに、ボランティアの活性化並びに高齢者、障害者等に対する健康生きがいくくり等を推進し、地域福祉の増進を図る事を目的とする

④地域ボランティア活動～各分野で求められている……放課後子ども教室募集(柏野・南本通)

放課後子ども教室、地域の町会会館を子供達に開放し世代交流(今後の青少年育成部の存続)小中学校区単位の町会青少年育成部の広域事業推進。(道路の清掃・街路地の花植え活動等)、

⑤元気高齢者～社会参加と参画……・別紙

- ・社会参加とは、地域社会での活動やその団体に関わること。
- ・社会参画とは、社会参加を通して、よりよい地域社会づくりと主体的に且つ積極的に取り組むこと。

◎ 遊び方、学び方で人生が変わる。『遊び過ぎず、学び過ぎず、ほどほどに生きる』

◆ 遊びの定義

広辞苑 ・あそぶ……日常的な生活から、心身を開放し、別天地に身をゆだねる意味。

・あそび……遊ぶこと (あそび友達・あそび仲間)、遊戯(踊り・歌う等) あそび駒

・遊び上手の人生には、余裕・ゆとり持つこと、又車のハンドルに遊びがあるからカーブを曲がる

◆ なぜあそびが必要か？

① 子どもの成長は、遊び方を通じて、人間形成されて・仲間づくり、技術力・忍耐力・継続力等人の真似をし、競い合いながら集団で【昔の遊びから】のルールなど習得して成長する者です。

◇子供達のパワーが遊びの原点……放課後子ども教室で柏野小・南本通小でボランティア活動

② 人や動物は、「遊び心を常に持っている」(例えば、好きな事や拘束されずに自由行動するから)

③ あそび上手か人生の達人・遊び心から歴史をつくる(例えば、新撰組志士達など目的 忠臣蔵、大石蔵之輔・(仇討ち)のため)。

④ 遊びや学びを理解して楽しみながらステキな人生を目指しませんか?…火遊びは火傷する?

- ・良く遊ぶとは、社会秩序を保持し、人間社会を構築すること。悪い遊びは、反社会的行為(競馬・競輪なども遊びの範囲で～)・良く学ぶことは、生涯学習実践活動です。

★ 遊びこと=学ぶことは車の両輪です。

▲そうした経験を通して、人間関係のルールや仲間づくりなど自然体に学ぶ心得になるので。

自由にあそぶ中で、挑戦する意義、言葉を使いこなす力や、想像力、友情・思いやりと感謝する等の望ましい特性が育まれことです。

・昔あそび……遊び方でルールや約束を教えることが大切です。

集団であそぶ、仲間と連帯意識を養う。… サッカーピンポン、ドッジボール、バレーボール、手打ち野球、縄跳び、ゴム飛び、馬飛び、跳び箱、  
 個人であそぶ、自己の技能向上、忍耐力、継続力、褒められて励む努力… 一輪車、竹馬、駒まわし、おはじき、あや取り、けんだま、メンコ、お手玉、ビー玉、缶蹴り、たが回し、缶ポックリ、石蹴り、凧上げ(各種あり)、羽根つき、竹とんぼ等  
 あそびの範囲は、自然が相手で無限である。その体験から将来性が芽生える。

## ◎ 生涯学習インストラクター制度の概要

### ◇制度開設の背景と目的

余暇の拡大、高齢化社会の到来、趣味の多様化といった、生活環境および経済社会の変化の中で、このような時代の要請に応じて、生涯学習インストラクター制度は、財団法人社会通信教育協会が文部科学省の後援を得て、文部科学省認定社会通信教育講座修了者の学習の成果を評価し、全国各地の地域における多様な生涯学習活動を推進・指導する人材養成を図るために、平成4年より実施している認定資格制度です。



### ▼ 生涯学習インストラクター資格の取得と人材登録 平成 21.12 月現在 約 27,000 名

文部科学省認定社会通信教育講座等を終了された方々がその学んだ学習成果を生かして、全国各地の様々な施設・地域・学校で、生涯学習講座・各種カリキュラムの企画・運営・指導にあたっています。生涯学習インストラクター資格は、今、必要とされる市民主導型生涯学習のリーダー的役割を担う人材の証明です。財団法人社会通信教育協会認定審査委員会の審査に合格しますと、認定証書・認定証を発行し、本協会人材バンクに登録し資格取得者の名簿を市町村教育委員会に送付します。なお、本制度には、生涯学習2級インストラクター資格と生涯学習1級インストラクター資格があります。

▲生涯学習2級インストラクター……………生涯学習推進活動における指導補助者・支援者

▲生涯学習1級インストラクター……………生涯学習推進活動における企画立案者・指導者

### ▼生涯学習インストラクターの役割と活動の場

#### ☆生涯学習センター。公民館・青少年教育施設・図書館・博物館等

都道府県または市区町村教育委員会が主催する学習会・学級活動・公開講座・講演会等、教育委員会の委嘱に基づき行う講師・補助講師、支援活動および住民が自主的に開催する講座等での講師・補助講師・支援活動(講座の企画・運営等)を行います。

#### ☆小学校や中学校等で学校支援

平成14年4月から、子どもの「生きる力」を育むことを目的に、完全学校週5日制が始まりました。また、総合的な学習の時間が設けられ、体験学習や問題解決的な学習に学校外の人々の協力が必要となってきています。

#### ☆「放課後子どもプラン」推進事業に参画

平成19年度4月から実施されている文部科学省「放課後子どもプラン」推進事業では、すべての

子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に、地域住民との交流活動等の取り組みを推進することが期待されています。

### ☆生涯学習インストラクター会の輪が全国各地に広がる

生涯学習インストラクター会を設立し、地域に根ざした活動を展開中です。学校支援や地域貢献、講座企画と立案、自主講座の開講、講師派遣事業等々、「自らの地域は自らつくる」という意識のもとに主体的に活動をしています。 68ヵ所

## ★ 函館生涯学習インストラクターの会 設立趣旨

- ・生涯学習の輪を広げよう
- ・永年、蓄積した財産(技能・知識・教養等)を活用したい
- ・視点を合わせてそれぞれの立場で学習すること
- ・参加条件
  - ・ 生涯学習インストラクターの資格を有する者、及び生涯学習に関心があり、趣旨目的に賛同する者。
  - ・ 心身健康で活動可能な人。多趣味の方・多芸な方・常に好奇心を持っている人
  - ・ 過去の職歴等を意識しない人。
  - ・ 年会費 3,000円

### ◎ 五感から雑学を学ぶ

各人各様に、職業的、学習的に専門分野で生活を営み人生が決まっています。…学とか…学  
私は、雑学で範囲は無限大な知識を広く・浅くで求めたものと考えています。従って自分の意思判断で学習意欲を目指すことです。

(雑学の分野) その修得には、好奇心を持つこと、発想の転換を自ら考えることです。  
私は、各種講演会や講義に参加、通信教育による学習、ボランティア活動参加、各種モニター等公募に応じる意欲を大切にしています。

- ① 読むこと……新聞の2回読み、切り抜きする。
  - ② 聞くこと(聴く)……講演会・講義を受け自分が感動・感銘したものを習得活用する。
  - ③ 書くこと……自分史、投書・公募に参加する。
  - ④ 話すこと……司会・研修会・講義、人の前で話す機会を持つ。(ネタづくりが大変)。
  - ⑤ 見る(心で観る)こと……視覚的感觉で見る。感性で観る(美術的・芸能的観賞)
- 雑学の取得(学び)手法は、五感の活用が基本ではないでしょうか?

### ◎ 私達が『今』出来る役割とは ・地域力は、元気高齢者と女性パワーです。

#### ▼ 時代変化に順応できる発想の転換をすること

- ・地域活動(町会活動を変える、老人クラブを変える、学校を変える、子供と高齢者の世代間交流を深めること)
- ・これからの社会保障制度の知識を自立・共助・協働で学習すること。
  - ▽ 隣人愛を保持できる地域社会を構築する  
近所付き合いの欠落、隣人同志はなぜ希薄化したのか。それは相手の立場や生活、環境を理解する姿勢が軽視されている。(あいさつ、思いやり、気配り等)
  - ▽ 民主主義の本質を(多数決の原理) 『人民は、権利を有し権力を自ら行使する』(権利と義務)

- ・個人主義、自己主義 プラバシーの保護（個人の秘密・内密） 戦前の町内会活動に逆行です
- ▼ 最近の自然現象を踏まえて危機管理の必要性
- ・危機意識の昂揚 過去の生活環境、事件事故防止、天変地変(ハイチ・チリ有珠山噴火 10 年前)の体験学習を参考に、災害時の対策(地域住民の支援体制等)確立する。

▽ ヨコ社会(仲間づくり・地域づくり等)のリーダー(世話役)がキーワードです。

元気高齢者は、地域社会の中で自立したグループ・サークルを積極的に且つ、意欲的に役割づくり(リーダー格を育成する。) をして組織化を図ることが私達の責務ではないでしょうか。

### ▼ 次世代の継承は元気高齢者役割

自らの生き方を子供達に伝える語り部(人生の体験談、各種の文化活動、事件事故、災難、戦争等) 例えば(生活習慣、伝統芸能、昔の遊び方、郷土料理、餅つきの歴史や方法等)

△ 次世代に伝える文化芸能など、再発見する。

昔の遊び……物づくり(手工芸)

地域ぐるみで楽しくふれあい交流(道具の使い方から始める)

水鉄砲づくり・割り箸で輪ゴム鉄砲づくり・竹とんぼづくり・竹馬づくり・草履づくり・

凧づくり等。餅つき・節分の豆まき・七夕の行事とその由来を解説する

大人が作るものを見て覚える、習う。道具(ナイフ・ハサミ・金槌・かんな・鋸等)

文化財保護の意義・活用など、未来世代に伝承する。形で残すもの。

★ 今こそ女性パワーを発揮しよう！

男性社会から女性社会に変化している時代です。女性の地域リーダーが、男社会・組織的(タテ社会)で過去の地位、名誉歴、肩に背負役柄が、地域活動(ヨコ社会)に通用せず、リーダーとして不適任の方も地域活動の障害になっているようです。男性の役割(責任)を負担して貰う気配りも忘れずに行なう事です。

○ 多様化した社会を改革するには……親・大人が変れば……子供が変わる……地域社会(人材 地域・街づくり)が変わる。 更に早く変えるには【若者・よそ者・善良な指導者です。新人類】

## ◎ 住み慣れた地域で「何」求めているのか？ 仲間との交流

### ▼ 居場所づくり(世代間交流)

・高齢者の居場所づくり～仲間づくり・サロンづくり・住替え問題 (住まいる札幌相談員)

- ① 仲間づくり～心を開いて語り合える関係 (遠路の親戚より近くの他人、地域の仲間、井戸端会議、茶飲み友達、悩みを話せる友達。
- ② サロンづくり～束縛されずにフリーに集れる場。(人の集まる場所を多くして自然発生的に人の集まる事業)
- ③ 住替え～自らの生活環境で変化する。一戸建…マンション…ケア付き住宅(グループホーム)



- ・ 団塊の世代居場所は、……地域でボランティア活動 生涯学習活動…学社融合 役割づくり～お世話役（人生80年代になり元気高齢者が多い、心身ともに健康で何かをする？自分の役割は何か？を考えて行動する。 各種団体でリーダー（まとめ役）の人間性と指導力が市民活動のキーマンになる。
- ・ 子どもの居場所づくり  
子どもの居場所……学校・学童保育・児童館 放課後子どもプラン事業が実施しています。

## ▼ 絆～親子・隣人愛、人間(コミュニケーション)

- ・ 夫婦愛・家庭の絆 夫婦の絆を保持することは、……(狐と狸の関係が大切) 家庭の幸こそ子供の絆になります。即ち親子の絆が確保されます。……最近の社会現象では、親は親・子供は子供 家庭の崩壊、命の尊さ・社会の秩序・事件、事故等
    - ・ 地域を変えるには……まず自分を変える…大人の社会を変えると…子ども学校が変わる。
    - ・ 早急に改革を必要では……若者・よそ者・異論者（意欲のある者）『新人類』
- △ ふれあい交流で隣人愛を育む、地域社会を再構築する、  
地域の現状分析・近所付き合い・隣人との関わり方地域活動の中心的役割を發揮できる人材（お世話役）の育成することが必要です。  
多様化した現代社会では、ヨコ社会を構築できるコミュニティーの機能が重要視されています。  
地域活動に意欲的・積極的な人材を育成し活性化を図る。（出しゃばりと積極性の違い）

### △ 親子の絆( 家庭での絆 )

夫婦の絆を保持することは、(狐と狸の関係が大切) 家庭教育の問題です。  
家庭の幸こそ子供の絆になります  
即ち、親子の絆が確保されている家庭では、……親は親・子供は子供 家庭の崩壊、命の尊さ・虐待殺人事件、悪質な事故等は起きない。

## ◎ キーワード 『元気な幸齢者とは』

世話をする 50%      世話になる 30%      感謝する 20%

・私は、余命が何年か？不明ですが？ また各人各様の寿命です。 自分の体力（心身共に健康）が100% [体力・気力・知力・能力]とし、約50%位を他人の役に立ちたい貢献したい(どんな小さい事でも。) 約30%位を誰かのお世話になります。 残りの約20%位は感謝する心を忘れずに人生を自然体で生きられたいと願望しています。

### ● 生涯学習実践活動の目標

・生涯学習は、学ぶことばかりでなく、遊び心を加えること、そして「いつでも・どこでも・誰でも・伝える・ゆとり」余裕(時間)に応じて、意欲的に学習することです。

▼ 自ら行動すること・▼ 自立し共に助け合う心・▼ 小さな思いやりと感謝の心

### ◎ 超高齢社会を生きるには、

心豊かに～愉しみながら、人間らしく自然体で歩み、愛を持った人生観が大切です！